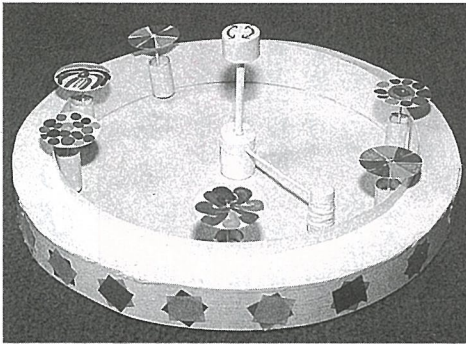


☆海匠地方出張所長賞☆



『じしゃくのこま』



東陽小2年

石川 昂 君

じしゃくの反ばつする力を使って、じしゃくのこまが回ります。こまにもいろいろな色でもようをつけたので、回るときれいな色になります。



アイディア作品は宝物

小・中学生夏休み研究成果発表

小・中学生が夏休み中に製作した作品や自主研究した記録を展示した「八匠小・中学校科学工夫展・統計図表展」が、9月7、8日に町民会館で開かれました。会場に訪れたたくさんの方々は、磁石や電池、モーターで動くアイデアといった

の作品や、身近な植物や昆虫の観察記録などの力作に感心していました。作品は、工夫工作、研究記録、標本の3部門で452点が出展され、光中3年の石井勇輝君の「赤砂の不思議」は、2年がかりの継続研究で素晴らしいと好評でした。

また、工作の部で石川昂君（東陽小）の「じしゃくのこま」が海匠地方出張所長賞に輝き、県の科学工夫展に出品されます。

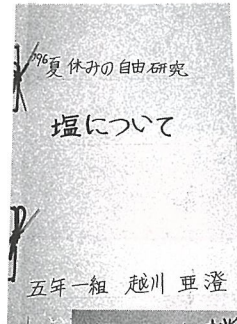
また、光町教育長賞には研究記録の部で越川亜澄さん（東陽小）の「塩について」が選ばれました。

☆光町教育長賞☆

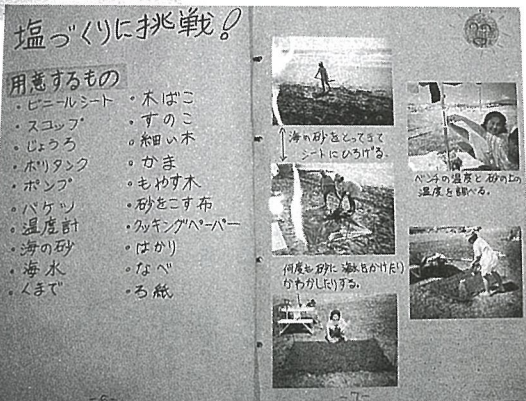


東陽小5年

越川 亜澄 さん



『塩について』



食塩がどうやってできるか調べました。海から作る方法が書いてあったので、小さな塩田を作って塩を取り出した。2週間以上かかった。



秋山 一泉（栢田）  
すこやかに傘寿を迎ふ秋涼し  
各種の役職を担い東奔西走の作者  
八十才を迎える清々しい朝の感懐  
を詩った。

布施 和代（二又）  
傷つきて心痩せをり虫すだく  
相手の心無い一言に深く傷ついた  
心を癒してくれるのは、季節の使者  
者虫時雨である。

大木 素風（二又）  
抱かれし笑顔の遺影秋寂し  
纏りのある作品だが季節が句意と  
付き過ぎの嫌がある。「刈田ゆ  
く」としたい。

伊藤 定男（尾垂）  
木の実降る音の佗しさ身辺に  
大谷 武彦（木戸）  
大いなる昭和忘れじ終戦日  
土屋 義昭（虫生）  
幼子の掌を零れ落つ木の实かな  
鴨川 篤（尾垂）  
盆踊り異国の人も輪踊に

短評 椎名しげる

評者吟  
青柿の地に影し敗戦忌